

こんな相談に対応します。



『ことば』について

- 相手の言っていることがわからない。
- 身振りや指さしが多く、ことばを喋らない。
- 単語で伝えることが多く、文にならない。



こんなことでお役に立てます

- ★わかることばを増やしたり、文で話す練習をします。
- ★ご家庭の中での関わりや声掛けなどの助言も行います。

『食事』について

- 上手く飲み込めず、口の中にとまっている。
- 偏食がある。●よだれが多い。
- よく噛まずに丸のみする。



こんなことでお役に立てます

- ★食べるための機能を評価し、お子さんにあった食べ方や食形態のアドバイスを行います。
- ★お口の体操や咀嚼練習などを一緒に行います。

『吃音』について

- ことばを流暢に話せない。
- ことばを繰り返したり、詰まったりする。
- 緊張するとことばが出にくい。



こんなことでお役に立てます

- ★吃音の状態を詳しく評価します。
- ★吃音に関する正しい知識や適切な関わり方をお伝えします。

『きこえ』について

- 呼んでも気づかないことがある。
- 聞きかえしが多い。
- テレビのボリュームを大きくしたがる。



こんなことでお役に立てます

- ★聴力検査をして、聞こえの程度を評価します。
- ★聞こえの程度に合わせて補聴機器の活用やことばを聞く練習をします。

『発音』について

- 力行やサ行がうまくいえない。
- 文になると、ことばがはっきりしない。
- 赤ちゃんことばが抜けにくい。



こんなことでお役に立てます

- ★発音を正しく言えない原因を詳しく評価します。
- ★お子さんにあった方法で正しい音を出す練習をします。

『読み・書き』について

- 一文字ずつは読めるが、文がスラスラ読めない。
- 字は読めるが、うまく書くことができない。
- 文章の内容が理解できない。



こんなことでお役に立てます

- ★その子に応じた学び方の工夫を一緒に考えていきます。
- ★他の専門職や学校などと協力しながらアプローチをしていきます。

『コミュニケーション』について

- 視線が合いにくい。
- 一人遊びが多く、集団活動に参加できない。
- 物を投げたり、お友達を叩いたりする。
- 一方的な話が多く、会話が続かない。



こんなことでお役に立てます

- ★お子さんの得意・不得意を見つけ、やりとりする力を伸ばします。
- ★声掛けの仕方や関わり方のアドバイスを行います。

早期発見・早期支援を

ことばの発達には、運動や社会性などの様々な側面の発達や生活環境・生活習慣を整えることが大切です。また、お子さんは生活の中で様々な経験を積むことでコミュニケーションの方法やことばを覚えていきます。乳幼児期は、その後の学校生活や社会参加につながる重要な時期です。この時期に発達のつまずきや偏りがあると、コミュニケーション能力やことばの獲得がうまくいかないことがあります。そのため、早期からお子さんに合った支援をすることで、より豊かなコミュニケーションやことばの発達を促すための環境を整えることが出来るようになります。

一人で悩まずに何か気になることがあれば、お気軽に相談してください。

相談機関

市役所や
保健所などの
相談窓口

保育園
幼稚園
こども園
学校

児童発達
支援センター

小児科
児童精神科

※言語聴覚士(ST)の在籍している施設については、協会のホームページをご参照ください。

●ホームページ <http://www.oita-st.com/>